

GGつうしん 10月号 Vol.54

10月は3R推進月間です！！

「GGつうしん（9月号）」でもお知らせしたとおり、10月は『3R推進月間』です。ごみ減量のためにできることを、日々の生活にプラスしてみませんか？**ごみ減量のコツ**は、小さな取組でも、**毎日コツコツ**継続して行うことです。

＜3R＞の活用方法

3Rは、資源を有効に利用する社会を実現するための大切なキーワードです。「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」は全て重要な取組ですが、使わなくなったものをリサイクルするにもエネルギーが必要になるため、ごみそのものを減らしていくことが一番エコな行動となります。

3Rを実践するときは、「リデュース」→「リユース」→「リサイクル」の順番に行動してみましょう！

STEP ① ごみの発生をもとから減らす方法を考えてみましょう！

リデュース
Reduce
(ごみのもとを作らない)



STEP ② 一度不用になったものも、新たな使い道がないか考えてみましょう！

リユース
Reuse
(繰り返し使う)



STEP ③ それでも要らなくなったものの中に、隠れた資源物が眠っているかもしれません。ごみに出す前にもう一度考えてみましょう！

リサイクル
Recycle
(再び資源として利用する)



《3R推進月間》の取組について

市内では、『3R推進月間』を盛り上げるため、以下の日程で3Rの周知・啓発を行います。

- ・店頭イベント：10月13日(木) @イオンモール浜松市野
- 10月26日(水) @フレスコウォーク浜北



昨年度実施の店頭イベントの様子

今年のキャンペーンのメッセージキャラクターは、人気沸騰中の『くでたま』です。意識さえ持てば、「黄身」にも「君」にもできることを「キミならできる!」と表現し、エコライフや3Rの意識を高められるキャッチコピーが使用されています。

店頭イベントでは、ごみ減量に関するアンケートにご協力いただいた方に、啓発グッズをプレゼントします!



©'13,'16 SANRIO S/D-G

環境省で、循環型社会の推進をイメージして《応援ソング》を制作しました!!



♪『巡り循環した環の中に』

環境省のWEBサイト「Re-Style」にて配信中です！
 サイト内では、ミュージックビデオ制作のための「動画」を募集しています。企業・組織・個人など、応募主体は問いません。「応援ソング」を活用した模様（演奏、ダンス等）や3Rの取組の模様（家庭、職場等）などが応募の対象になります。

詳細は、サイト内の特設ページをチェックしてみてください!!

Re-Style



27年度のごみ処理経費をお知らせします！！

総額62.2億円！前年度比14.2億円の減！！となりました

市では、「ごみにいくらお金がかかっているの？」「税金からいくらごみの処理にお金を出しているの？」といった疑問にお答えするため、毎年度ごみ処理にかかった経費を「ごみ処理経費」としてお知らせしています。

今回は27年度のごみ処理経費をご紹介します！



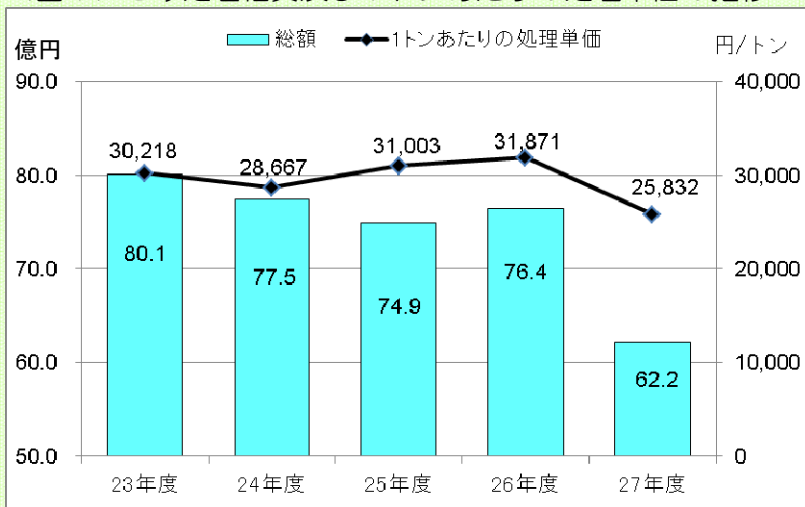
減った理由はなんなの？

23年度に約80億円であった経費は、25年度には74.9億円となり75億円を切り、過去最少となりました。

26年度では76.5億円となり、25年度から1.6億円の増加に転じました。これは、26年度からの消費税率変更（5%→8%）により委託料などが増加したことによるものでした。

27年度では、62.2億円となり、再び大幅な減少となりました。これは、21年度から稼働していた西部清掃工場建設費の一部の減価償却が終了したことや26年度末に天竜ごみ処理工場を閉鎖したことが主な要因です。

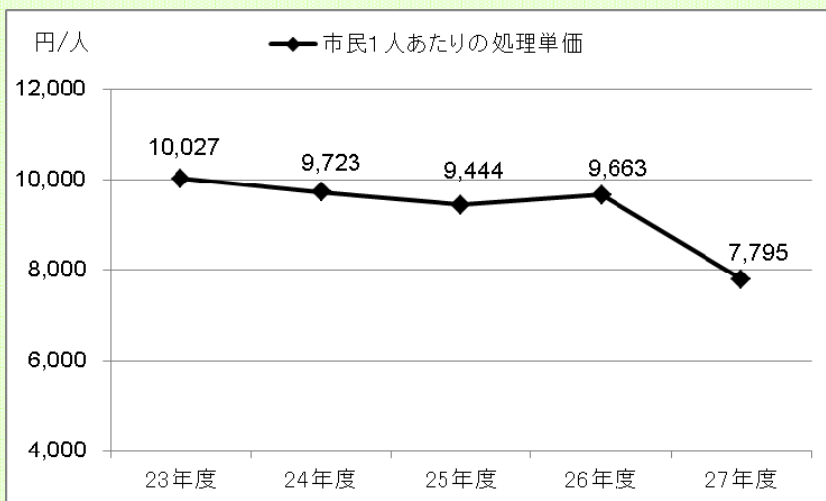
<図1>ごみ処理経費及び1トンあたりの処理単価の推移



ごみ1トンあたりの処理単価（総額を処理量で除したもの）では、25,832円となり前年度と比べ6,039円の減少、市民1人あたりの処理単価（総額を浜松市推計人口で除したもの）は7,795円となり、前年度と比べ1,868円の減少となりました。

市民の皆さまが負担していただく分は大幅に減少しています。

<図2>市民1人あたりの処理単価



整理統合により、浜松市の焼却工場は27年度には3か所から2か所になったのじゃ！

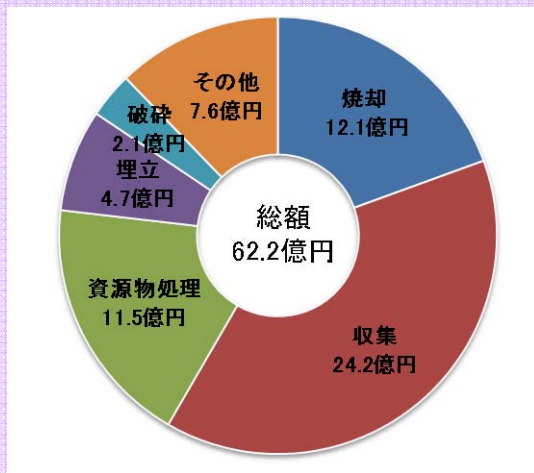




処理経費の内訳を教えてください？

処理部門別経費の内訳では、「焼却」が12.1億円、「収集」が24.2億円となっており、「焼却」「収集」を合わせると全体の約60%を占めています。「焼却」とは南部清掃工場、西部清掃工場の建設費や維持管理費等の「もえるごみ」を焼却する経費、収集とは、ごみ収集するための委託料など、ごみ集積所から処理施設まで収集運搬する経費です。

<図3>ごみ処理経費の内訳

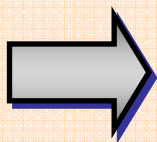


処理経費を減らすにはどうすればいいの？

「もえるごみ」を例にすると、浜松市では合併直後の18年度は242千トンが排出され、5か所の清掃工場で処理されていました。これが27年度には218千トンとなり、「もえるごみ」の量で24千トンが減量され、清掃工場での処理も2か所に集約されました。清掃工場には建設はもとより、維持管理に膨大な経費がかかっていました。10年単位の長期的なごみ減量により、清掃工場の計画的な閉鎖が可能となり大きな削減効果が期待できます。

<平成18年度>

・もえるごみ **242千トン**
 ・清掃工場 **5か所**



<平成27年度>

・もえるごみ **218千トン**
 ・清掃工場 **2か所**



10年間で、24千トンの削減!!
3か所の削減!!

■平成28年8月分の家庭系もえるごみ速報値をお知らせします

家庭系もえるごみ **12,185トン** (前年同月比 **+680トン**)

平成28年4月からの1人1日当たり平均 **490グラム** **新目標435グラム!**

■家庭系もえるごみ月別推移

項目	4月	5月	6月	7月	8月	累計
28年度	11,606	12,843	11,425	11,742	12,185	59,801
27年度	11,982	12,058	12,555	12,273	11,505	60,373
前年度比	△376	785	△1,130	△531	680	△572

4～8月の累計では、前年度と比べ『572トン』少ないのじゃ!このままの調子で頑張るのじゃ!!

